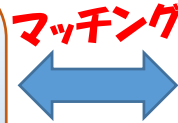


4. 活動の成果 ー学校・福祉施設と連携した取組みー

連携のきっかけ

サポート隊の中での情報提供から

学 校：生活科・総合的な学習の時間のテーマとして体験活動や地域との連携を重視
福祉団体：高齢者・障害者が地域の一員として暮らし、共に生きがいを創るという方向性



多面的機能組織

農業体験や様々な人との交流を通じて

- ① 地域農業やその関連施設が果たす役割（自然環境保全など）を伝えたい。
- ② 地域とそこに住む人への関心を高め、地域のもつ素晴らしいところを発見してほしい。

活動事例

● 有田保育所と福祉関係団体が行うトウモロコシ栽培体験



障害者施設でのポット苗作り



園児たちと福祉関係者がペアを組んで実施したトウモロコシ苗の植付け



ペアになる
ことで交流
が深まる



有田保育所の収穫体験

4. 活動の成果 ー学校・福祉施設と連携した取組みー

● 有田小学校5年生のもち米栽培体験



田植え（手植え）体験



稲刈り体験（手刈り）
精米したもち米は
「うだっ子」と命名



出前講座



生産から食までの過程
を体験してもらう



餅つき体験と「うだっ子餅」づくり。全校生徒に
配り試食してもらう

● 田丸小学校1年生のマリーゴールド植栽体験



ポット苗づくり



マリーゴールド
里親プロジェクト



子どもたちと福祉団体関係者による苗の植付け



組織・活動の目的やたく
さんの人たちの関わりを
子どもたちの言葉で説明



発芽から育苗期の管理を
地域の皆さんに委託

64の個人・団体が里親に

管理したポット数：2,952



4. 活動の成果 —地域住民等との交流活動—

● 玉城ええやんまつりへの出店

有田小学校5年生が収穫したもち米「うだっ子」を活用して、来場客へのうだっ子餅のふるまいと餅つき体験を実施



● そば打ち道場と掛け蕎麦のふるまい会

景観形成用に植栽したソバの実を収穫し、プロを招いてのそば打ち道場と打ったそばを掛け蕎麦として地域住民に提供するふるまい会の開催



● 「お花畑で春のランチプレート」の開催

田丸小学校2年生が播種作業を行った秋まき・春咲きの花の開花時に地元産の食材をメインにしたランチを食べながら花を楽しんでもらう



● 田丸小2年生の播種体験



平成29年度は福祉団体と連携し、そば打ち体験を共催

● 会場での広報活動

可能な限り活動紹介コーナーを設置



里地里山への着目

里地里山は保全管理に係る課題の集積エリア

- ① イノシシ等による獣害被害の拡大
(獣にとっての餌場・ひそみ場の増加)
- ② 利便性や作業が過酷等の理由から耕作放棄地が発生する可能性が高い
- ③ 景観の荒廃の進行(竹林の増殖、雑草繁茂等)

● ～獣害被害確認～里山ウォーキング



● 三重大学人文学部による里山調査



課題集積の要因

- ・ 利用価値の低下により人の手が入らない
- ・ 地域のみでは維持管理が困難

価値を共有する地域内外
の多様な個人・団体等の
参加・協力(協働)が必要

多様な主体が協働可能な仕組みの構築

【取組み方向】

- ① 地域の人々による里地里山の調査
 - ・ 現状把握と価値の見直し・再発見作業
- ② 新しい活動の仕組みづくり
 - ・ 地域の実情・要望に応じた事業構築と参入側の二ーズの把握
 - ・ 受入れ体制の整備
- ③ 新しい活動の展開と拡大へ